

かりがね



KARIGANE

冬
Winter

NO. 363

[季刊] かりがね

発行人
社会福祉法人かりがね福祉会
昭和54年9月26日
第三種郵便物認可
3. 6. 9. 12月1日発行
平成25年12月1日発行
第363号

今号の表紙

「子どもたちが未来へ向けて自分を創っていく、その一翼を担えるような事業所になりたいと、在宅支援センターえ～るの中でも児童支援を中心とするチームを『ミライエ、』と名付きました。コンセプトはズバリ『チャレンジ!!』、一人ひとりが好きな事・得意な事を見つけられるように、利用者さんとスタッフが一緒になって楽しみながらいろいろなことにどんどんチャレンジしていきたいと思います。」



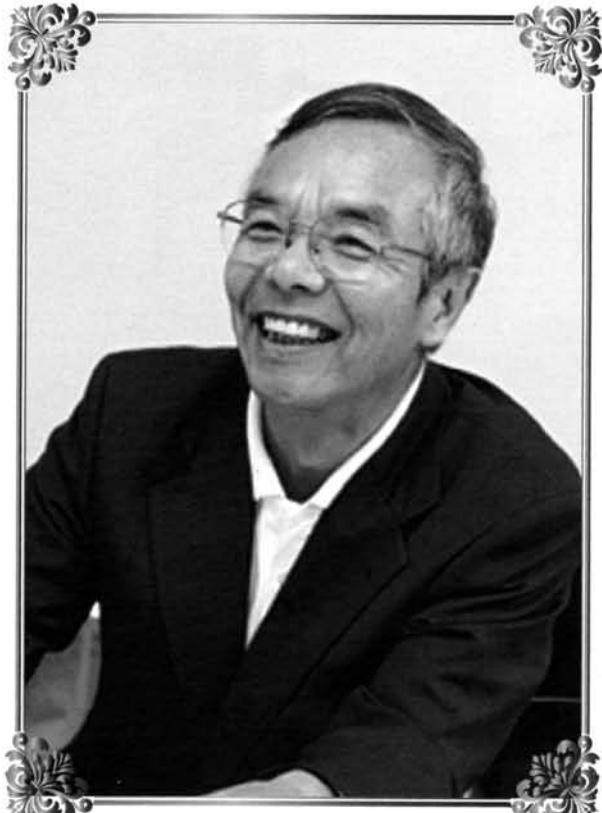
CONTENTS

- ②追悼
- ③真田地域一周駆伝、一筆啓上
- ④かりがねフェスティバル2013
- ⑤共同生活サポートセンター地域交流
- ⑥感謝録、おたより
- ⑦真田地域人物探訪、編集後記
- ⑧NHK バリバラ放送!、冬のイベント情報ほか



初代園長の岩見太市さん逝く

総合施設長 小林 彰



岩見太市さんを偲ぶ

かりがね福祉会の創設の中心であり、かりがね学園（ライフステージかりがね）の初代園長の岩見太市さん（NPO法人シーズネット理事長）が、この10月4日（金）夜、札幌市内の病院でご家族に見守られながら永眠されました。72歳でした。岩見さんは、3年ほど前に末期ガンの宣告を受け、その後も積極的に活動を続けながら闘病生活を送られてきました。しかし、ご本人や多くの人々の願いもかなわず帰らぬ人となってしまいました。葬儀には法人を代表して塚田事務局長が参列し、お別れをしてまいりました。

真田には2年前のライフケースティージかりがねの竣工式に足を運ばれ、真田公民館大ホールで記念講演もしていただきました。「最後の講演です」という言葉が心に残っています。昨年11月には集大成というべき「地域家族の時代」を出版されました。

岩見太市さんは京都市生まれ。大学を卒業後信用金庫に勤務され、31歳の時に山が好きなこともあって信用金庫を退職して信州に移り住み、福祉施設に勤めました。35歳で「社会に開かれた」新しい社会福祉施設をつくろうと考え、運動を始めました。語られた方針が、施設の「社会化」、「家庭化」、「近代化」でした。

①社会化＝施設の入所者が社会の一員として認められること、②家庭化＝入所者にとって施設を訓練の場であると同時に、生活の場として位置づけること。③近代化＝広く社会の人々が運営に参加し、新しい姿を実践すること。

岩見さんは、40年ほど前に現在でも充分通用するような考えを基にして、かりがね学園設立の取り組みを始めました。

運動は新聞紙上でも取り上げられ、会員数は約6500名、設立会費は約3500万円になり、それを基にしてかりがね学園が昭和54年（1979年）に開所しました。

岩見太市さんは5年間園長として勤務され、次の活動の地に移られましたが、かりがね福祉会が今日あるのも岩見さんの功績によるところが大です。今後も設立の精神を忘れることなく、利用者さんを中心にすえた活動をしっかりと続けてまいりたいと思います。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。安らかにお眠り下さい。（合掌）

真田地域一周駅伝 ついに30位の壁を破る!!



かりがねフェスティバル翌日の10月20日（土）、「真田地域一周駅伝大会」が行われ、チーム「かりがね」も昨年に続き参加をしました。選手は若手主体で構成され、

事務局を中心にサポートチームも結成されました。選手は勤務が明けた後に練習を重ね、本番に備えました。

当日は早朝からの雨という肌寒いコンディションの中で開始されました。選手は雨に打たれながら激走して無事6区間たすきをつなぎ、これまで超えることの難しかった30位の壁を破り、36チーム中26位の成績をおさめました。

55回という伝統の大会だけあって、各自治会の役員として法人の職員も多数参加をしていました。

一筆啓上 支援計画がほしい

平成24年度から福祉サービスを受けるには基本的に「サービス等利用計画」（障がいのお子さんは「障害児支援利用計画」。以下、「サービス等利用計画」という）が必要となりました。市区町村はそれに基づいて福祉サービスの支給量を決定します。経過措置がありますが、できるだけ早くサービス等利用計画が障がいのある利用者さんに提供されることが求められています▼サービス等利用計画は「相談支援専門員」（介護保険でいう介護支援専門員）が作成します。利用者さんや家族に話をうかがったり、既に福祉サービスを受けている場合は、事業所から様子を聞いたりして作成します。具体的には日中活動の事業所に通所するので月〇〇日、夜はグループホームで過ごすので月〇〇日、日曜日はヘルパーと外出す

るので月〇〇時間といった具合になります▼他に「個別支援計画」があります。これは事業所の支援計画です。「サービス管理責任者」が中心になって作成します。通所の事業所とグループホームを利用していれば、2つの個別支援計画が用意されます（ヘルパーの場合は「サービス提供責任者」が作成する「居宅介護計画」となります）▼サービス等利用計画が生活全体の計画となり、個別支援計画が事業所毎の計画となります。ここで大切なことは、どちらも利用者さんの意向を最大限尊重して作成されることです。また、どちらの計画も同じ方針で支援がなされ、利用者さんの「自立」と「社会参加」を目指しているということです。いずれの計画も利用者さんにとっては、必要で大切な支援計画です。（あ）

10月19日(土)

かりがねフェスティバル2013

今年度実行委員長を務めさせていただき、実行委員をはじめ全スタッフ、そして多くの地域ボランティアの方々の力を借りて今年のかりがねフェスティバルを無事に終える事ができました。利用者さんの笑顔も見ることが出来て本当に嬉しかったです。今年のテーマ【ありがとう～伝えよう、今のかきもち～】にもありますように皆様に「ありがとう」という気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

実行委員長 関谷浩行



共同生活サポートセンター 9月29日(日) 地域の方と武石の森で初バーベキュー



はじめに

かりがね共同生活サポートセンターでは、毎年、利用者さんが地域の皆さんと楽しく交流できる行事を実施しています。昨年まではミニ運動会を行いましたが、今年は、地域の皆さんとゆっくりお話しをしながら過ごしたいとの要望が多く、行楽の秋、食欲の秋でもありバーベキューを行うことにしました。



利用されている方より

Aさん：おいしかったです。みんなとワイワイ楽しく出来ました。またやりたいです。

Nさん：スタッフの余興がとっても良かったのでまたやってもらいたいです。

ジャンケン大会も当たったよ(*°▽°*)

Wさん：地域の方と外でバーベキューができるっても楽しかったです。
またやってみたいです。



地域の方より



Mさん：天気もよく、利用者さんと一緒に焼肉を食べたり、お酒を飲みながら楽しい時間が過ごせて良かったです。

Nさん：頑張った。

Aさん：自然がとても豊かで地域の仲間たちの心も解放されて、話もし弾みとても楽しいバーベキュー大会になりました。※「肉うまかったなあ～」



スタッフより

Hさん：今年度一回目、地域の方との交流会は、真田を飛び出し大自然の中でバーベキュー大会を楽しみました。総勢60人ほどが集まり、食べたり・飲んだり・話をしたり！！利用者さん・地域の方・スタッフの笑顔いっぱいの交流会となりました。

Sさん：初めて地域行事に参加しましたが、利用者さんと地域の方が一体となり、楽しんで頂けていたので良かったです。

Yさん：今年度の地域行事を担当させて頂きました。武石の森は、釣り堀や川も流れしており、大自然に囲まれた静かなところでした。真田から離れた場所なので不安もありましたが、天気にも恵まれ、地域の方にも「ゆっくり出来たよ」と嬉しい言葉も頂けました



感謝の気持ち

地域の方に、スイカやにんにく、辛ピーマン、また…スタッフに手作りおにぎりを差し入れして頂きました。武石の森の方には、山のきのこ汁を頂きました。みんなの温かい気持ちを感じる1日もありました。本当にありがとうございました♪



感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます 平成25年4月1日～平成25年9月30日

寄贈物品

馬場純子、北九州市手をつなぐ育成会、杉原弘、立正佼成会上田教会、(株)加藤製作所、佐々木良子、響き合う命の力、塩澤、増田佐喜男、ますや、吉野修通、柳沢伸治、西澤勝典、清水、酒井喜一、匿名希望、株和の郷にんにく王国
以上 お菓子、ジュース、牛乳パック、花、テーブル、洗剤、タオル、毛糸、りんご、ぶどう、マウスウォッシュ、ペットボトルキャップ、大根、じゃがいも、にんにくの種他

寄付金

小林彰 (株)石原産業 石原張男 宮沢栄一
合計 548,800 円

平成25年度運営会員ご入会者

■長野県 秋山雅春 小林彰 沼澤昭太郎・八重子・圭子 増田佐喜男 神津澄夫
臼井八代枝 三井勇 中島やすえ
株呑田総合 佐々木良子 細谷裕治
阿部きよ子 佐藤光生 田村美津
中澤久美恵 海瀬みどり 小池美治
前島勲 高山静子 塩沢満孝 久田節子
向井康昌 工藤量男 清藤芳男 前島ミエ子
小井土昌廣 西沢勝典 金沢秀明 杉原弘

小菅暁 仲沢澄江 上原幸一 小林崇章
大久保一海 赤平年三 尾崎昂吉 北澤雄司
佐藤政弘 成沢勝 高橋弘幸 花岡尚
柳澤正敏 恩田浩子 坂口みゆき
長谷川亜季 成沢洋一 小林功子 土屋清二
春原道昭 丸山光康 宮沢栄一 藤林昇
堀内艶子 宮島とよ子 タバレス・エドアルド
(株)加藤製作所 草野澄隆 小川原泰代
南澤聖子 長谷川恭子
■兵庫県 クボタカミ

平成25年度運営会費納入金額

(平成25年9月30日現在)

	会員数(名)	会費(円)
長野県	76	537,000
北海道	0	0
東北地方	1	10,000
関東地方	2	13,000
中部地方	0	0
北陸地方	0	0
近畿地方	2	13,000
中国地方	0	0
四国地方	0	0
九州地方	0	0
合計	81	573,000

おたより



平成25年7月1日～平成25年9月30日

●秋晴れの中、10月11日にライフステージかりがねとOIDEYOハウスを親子で見学させていただきありがとうございました。

ライフステージの方では、ビデオをみせていただき全体の様子がよくわかりました。新しくて明るく落ち着いた場所で静かに生活できるすばらしい環境ですね。OIDEYOハウスでは、バスを降りたとたんにりんごの香りが漂っていました。中では静かにはた織りをされる方々、テープを一つついでねいに貼っている方、子ども達も保護者の方々も感心していました。女の子は特にた織に興味を持ったようでした。

日頃運営会員の皆様から、会費振込用紙の通信欄やお手紙、年賀状等を通して温かいメッセージを頂戴致します。お名前はイニシャルにさせて頂きます。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

本校の特別支援学級にいるお子さんの中には、将来一人で生活していくことは難しいと思われる人もいます。どのお子さんも保護者の方にもこれから進路を選択していく時に本日の体験も参考にしてもらえばと考えています。

本日はたまたま暑い日となりましたが、これからは日一日と気温も下がってくことでしょう。職員の皆様、入所、通所のされている方々皆様が風邪などひかれず、お元気でご活躍できますようお祈りしています。

長野県 N 小学校

真田地域 人物探訪

若林幸正

社会福祉法人かりがね福祉会元理事（角間自治会在住）

第一回

横尾区
小林徳平氏 俳人
(俳号: 咲水)

人物探訪連載の趣旨

真田地域全般に、各方面で活躍した先人達により、地域の文化、自治等が安住に確保され発展してきた。広い範囲の業種の中で、活躍された人物を紹介し、その背景を探る。

第一回として、私が個人的に親交がありました、横尾区の小林徳平氏（俳号 咲水）を紹介する。横尾区には、明治より引き継がれている。二葉会俳壇会があり、現在でもその慣例が引き継がれている。農業恐慌時代の、苦しい生活の中にあっても、「俳句は、何よりの心の支えであり、楽しみである」と語っている小林さんの俳句には、農作業を愛した句が多い。

＜温田に抜く足おもし稻を刈る＞

小林氏が地域に貢献した功績は著しい。俳会の指導、機関紙の俳句選者、有線による俳句講座。



略歴

明治41年／長村横尾 小林平八郎の二男として生まれる。
大正11年／長村尋常小学校卒業
昭和7年／塚原わさと結婚
昭和8年／長男誕生 (6人の男児をもうける)
昭和51年／永眠 享年68歳

俳歴

昭和10年●田中茶水先生に俳句の指導受ける。
昭和13年、上田曲水会入会、俳号: 咲水と名乗る。
昭和25年●横尾青年団俳句指導
昭和29年●長村時報（あづま）俳句選者
昭和37年●有線放送俳句講座放送

※現在小林徳平氏の相続者、小林三三雄氏は、兄弟で絵画、写真などの兄弟展を開催し、広く好評を受けています。

先日、母から小学校時代の友人の凱旋公演のチラシを貰い、驚きました。

彼は高校を卒業後、単身ドイツへと赴き、パントマイムの修行をしていました。パントマイム、つまり大道芸ですから『そんなんで本当に食っていけるのかな?』と私は当時思ったりもしましたが、ヨーロッパでは日本で言う『伝統芸能』みたいな扱いの部分もあるらしく、ドイ

ツ・フランスを中心に彼は活動していたとの事です。

その彼が11月19日、信州音楽村で凱旋公演を行います。タイトルは『エ・ヴィ・ダンス』音楽とマイムのコンサートです。興味がお有りの方はチェックしてみてください。私も彼とは畠が違いますが、日々の仕事を頑張っていこうと思います。(大塚)

NHKバリバラ放送！

先日、9月13日にNHK Eテレの「バリバラ」（毎週金曜21:00～21:30）という番組にOIDEYOハウスが取り上げられました。内容は“工賃アップ大作戦”というもので、プロのコンサルタントの方の協力を得てOIDEYOハウスの工賃をアップさせようというものです。

9月13日の放送ではOIDEYOハウスの現状を放送していました。そして次回は12月13日 21:00より放送予定です。前回放送後からどのように事業所が変化したか、収益はアップしたかという放送内容になる予定です。是非今後の放送予定をチェックしていただき、ご覧ください。

<http://www.nhk.or.jp/baribara/>



冬のイベント情報 ナイスハートバザール

2月7日～9日の3日間、イオン佐久平店（長野県佐久市佐久平駅南11-10）に“OIDEYOハウス”が出店します！

かりがねカレンダー2014

(株)アオヤギ印刷様のご協力により、利用者さんの作品を掲載したカレンダーを製作しています。

ご希望の方は法人本部/ライフステージかりがねまでご連絡ください。



社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <http://www.karigane.or.jp/>

■法人本部／ライフステージかりがね／つつじ	〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1	TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406
■在宅支援センター・重度包括支援 え～る	〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1	TEL/FAX.0268-72-8022
■共同生活サポートセンター	〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-1(よつばのいえ内)	TEL/FAX.0268-72-2434
■風の工房	〒386-2201 長野県上田市真田町長2464-1	TEL.0268-72-2151 FAX.0268-72-4976
■OIDEYOハウス	〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽8551-2	TEL/FAX.0268-73-0005
■アトリエFuu	〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-2	TEL/FAX.0268-72-1061
■希咲館	〒386-2202 長野県上田市真田町本原1491	TEL/FAX.0268-72-5067
■いこいの家	〒386-2202 長野県上田市真田町長6130-6	TEL/FAX.0268-71-5305
	〒386-2202 長野県上田市真田町本原2376-2	TEL/FAX.0268-72-8008

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしています。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。